

●出力特性

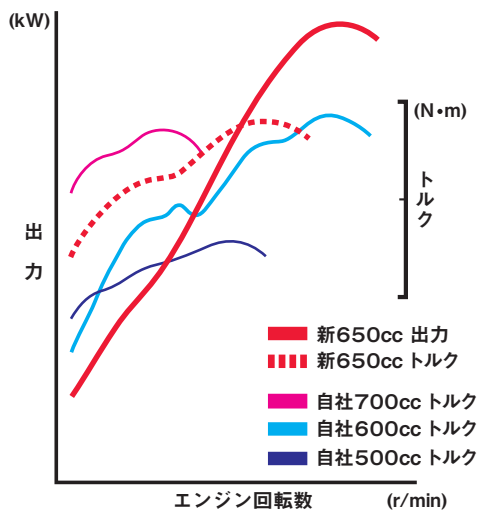
この新開発の直列4気筒エンジンの出力特性は、日常的に使用する低・中回転域でも扱いやすく、加速時には使用頻度の高い2速から3速のシフトレンジで加速感を強調させることで、直列4気筒エンジンならではの伸びやかな吹け上がりと上質感を実現させました。

高回転域でのスポーツ性と低回転域の扱いやすさを両立させた特性とするため、流体シミュレーションCAE出力計算などから、ボア×ストロークを $\phi 67\text{mm} \times 46\text{mm}$ とし、バルブタイミングのオーバーラップ量(吸・排気バルブが同時に開いている状態)を極力少なくし、エアファンネル最小内径を $\phi 30\text{mm}$ 、最高出力回転数を9500rpmと設定することで、6000~9000rpmにおいてスムーズな加速を実現しました。

また、エキゾーストパイプは、最適な管長や管径を選択することで、4000rpm以下の低回転域でトルクがあり扱いやすく、Uターンなど極低速時の低回転域走行がより容易に行える仕様としました。

さらに低・中回転時の、より高いギアの使用時にもスムーズな巡航走行を実現させています。

■出力特性比較グラフィイメージ



■排気系

